

< 目次 >

- 1 【家庭学習】教科書は最高の学習教材〔後編〕
  - 2 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録
  - 3 【編集後記】あつしのひとりごと
- 

★ 教育振興運動イメージソング「Hand In Hand」を聴くことができます。

ここをクリック⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/HANDINHAND.html>

★ 「ココロの風」手話歌詞カード

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/24kokoronokazesyuwa.pdf>

---

## 1 【家庭学習】教科書は最高の学習教材〔後編〕

夏休みに入ります。学校からは、各教科の宿題も出されていることでしょう。前編では、「高校入試は、教科書の内容から出題される」ことから教科書の内容を定着させる授業の取組について書きました。高校入試と同様に、小学校・中学校のテストや宿題も“教科書の内容”が問われます。

塾に行く、参考書を買う・・・など、「お金をかけないと学力は伸びない」は思い過ごしです。基本は教科書・・・これをおろそかにしないことが大切です。

1学期が終わり、成績が渡されました。子どもがどこかでつまづいている時は、“教科書のどこがわからないか”を見つけることが先決です。実際に授業で使っている教科書を開いて「どこがわからないの？」と子どもに聞くと、つまづいているポイントを見つけやすいものです。

つまづいているポイントを見つけたら、教科書を使いながら親が類似問題を作ってあげたり、または、教科書やドリルの類似問題で練習させてあげたりするといいいでしょう。

私の息子が小学生の時、夏休みの宿題として大学ノート1冊分勉強して提出するというものがありました。何をしてもよい・・・というのは、子どもにとって一番困るものです。困ったあげく、漢字練習をする・・・となりがちです。

そこで、その大学ノートに私が国語・算数・理科・社会の問題を作り、息子に渡すようにしました。夏休みの日数で大学ノートのページ数を割れば、1日に○ページをやるというノルマができ、夏休みに入っても家庭学習をする習慣を崩すことはありません。

問題は、前日の晩に“教科書を見て、教科書の例題を書くだけ”です。または、“ドリルの問題や1学期にやったテストの問題を書くだけ”です。理科や社会は、教科書にある年表や地図、図をコピーして、大切な用語を修正液で消して再度コピーしたものをノートに貼れば、問題の出来上がりです。（私は手書きのイラストで問題を作りました）また、教科書の本文を書き写しながら、重要語句のところを（ ）にするだけで、問題が出来ます。

問題集を買わなくても、教科書を上手に使えば問題はいくらでも作れます。しかも、子どもの実状に応じて作ることができ、また教科書の内容をきちんと身につけさせることができます。答えは教科書の中に書いてあったり、解答があったりするので、マルつけに苦勞することはありません。

子どもが学習に取り組む姿を思えば問題を作るのも、マルつけをするのも楽しみになります。親が問題を作ったり、マルつけをしたりと手をかければ、子どもも意欲的に学習に取り組むと思います。

“教科書勉強”は、親子のコミュニケーション。難しく考えず、教科書を使えば誰でもできます。親子で楽しみながら“勉強ごっこ”をしてみませんか？夏休みでペースがつかめたら、2学期も続けていきたいものですね。

---

## 2 【 教振は今 】 教ちゃん、振ちゃん見聞録

(振ちゃん) メールマガジン第72号で、8月4日(土)のイーハトーブ音楽祭に清心さんが出演することを紹介したよね。

(教ちゃん) そうだったわね。

(振ちゃん) その「清心コンサート」のポスターが、花巻市内のいろんなところに貼られているんだよ。

ポスター ⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/youkou/ongakusai.pdf>

(教ちゃん) なんで、なんで。

(振ちゃん) 前にFM放送に「Hand In Hand」をリクエストしまくっていたあつしさんが、今度はポスターの掲示をお願いして歩いたのだから。花巻市内の駅や大型ショッピングセンター、コンビニなど48か所をお願いしたんだってさ。

(教ちゃん) また・・・暇人ね。

(振ちゃん) 振興センターや小中学校に掲示を依頼した分を含めると110枚のポスターが貼られることになるんだ。その他に、いろんな機会にチラシも配るそうだよ。

(教ちゃん) 清心さんが花巻市内学童クラブの子ども達と一緒に出演することを、皆さんに知ってもらわないとならないものね。

(振ちゃん) 社会教育事業は、まず知ってもらい、集まってもらうところからだもんね。営業活動は、欠かせないよ。

(教ちゃん) それでも、どれくらいの人が集まってくれるのか心配よね。

(振ちゃん) よし。清心ファンクラブは、花巻に集合だ！

(教ちゃん) いつの間に、ファンクラブに入ったのよ。

(振ちゃん) ラブリー、きょっみちやーん！

---

### 3 【編集後記】 あつしのひとりごと

真面目なひとりごとを・・・。

7月20日（金）の“岩手県教育振興運動推進幹事会”が開かれ、教育振興運動の推進のあり方についてご意見をいただきました。以下は、主な意見です。

○市町村における運動の推進上の課題が、毎年同じ傾向にあるのは、市町村及び地域の“課題の共通認識が弱い”からではないか。課題を地域住民が共通認識をすれば、「なんとかし

なければ！」と話し合いが行われ、活動者も限

定されるということにはならないと思う。

○特に、それぞれの立場に声をかけることができ、地域全体に方向性を示すことのできる“行政”の役割に期待したい。

○「教育振興運動」という言葉を、PTAになってから初めて知る人が多いのでは。教育振興運動のイメージソング「Hand In Hand」は、教育振興運動を子どもに意識させるものとして期待している。

○毎年おこなっている調査は、市町村担当者の主観によって記載されているのではないか。地域の実態を反映しているのか疑問である。調査のあり方に改善が必要である。

5月に開催された“市町村担当者研修会”においても、松尾先生から「課題意識（どうにかしなければ）が、運動（やろう）の始まりである。」と教えていただきました。“活動者が少ない”や“話し合う場を持たない”と感じている市町村及び地域は、今取り組んでいる課題が「どうにかしなければ」と思っている課題なのかどうかを確認する必要があるのでしょうか。

教育振興運動は、去年どおりの活動をするのではなく、今、目の前の解決しなければならぬ子ども達の課題を地域総ぐるみで解決する運動です。「解決することができたか」及び「解決するための方法が適切であったか」が問われる運動です。今年度の総括に向けた後半で、改めて意識したいところです。

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。

感想・意見・要望はこちら。 ⇒ [21kyoushin@gmail.com](mailto:21kyoushin@gmail.com)

⇒ 第74号は、8月14日（火）配信です。

★バックナンバー（第1～72号）はこちら。

⇒ [http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/merumaga\\_backnumber.html](http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/merumaga_backnumber.html)

★全県共通課題（家庭学習と読書推進）の実践事例はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/zenkenjirei.html>

★メルマガで紹介しました資料はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/shoukaijirei.html>

~~~~配信元~~~~

\*岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

\*発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。ロコミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気をおあなたから作りだしてください。

~~~~